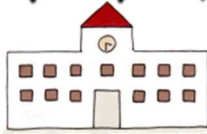


保護者様(児童数)

西宮市放課後キッズルーム事業



2024.4.30
西宮市教育委員会
地域学校協働課

うえみなこどもルームだより5月号

いつも「うえみなこどもルーム」にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。
新しい環境にも少しずつ慣れてきて、子供たちは元気いっぱいです。ルームでも楽しく過ごせるようにゆったりと見守っていきます。

ところで「うえみなこどもルーム」で長年続けてきましたサポーターやコーディネーターが子供たちの音読を聞く活動は、昨年度末をもって終了となりました。参加人数が増え、音読を最後まで聞くことや、全員の希望を叶えてあげられなくなってしまったのが理由です。私たちが日々上手になっていく様子を楽しみにしてきましたので、とても残念です。音読は子供たちの学力を伸ばしてくれますので、今後はご家庭で音読の時間を楽しんでいただけたら、と思います。

これから気温が高くなってきます。十分な水分と、手洗い後や汗拭き用のタオルやハンカチの予備を持たせてあげてください。よろしく願いいたします。

コーディネーター 赤江 朋子

1.2年生は直接参加カードに日付と保護者のサイン(または押印)が必要です。(1年生の参加は夏休みからです。)確認できない場合は下校を促すことになります。下校になった場合はどうか、お家で話し合っておいてください。3年生からカードは必要ありません。お家でルームに参加するかどうか確認してください。

気象警報発表時、緊急時、インフルエンザ等による学級閉鎖時は事業の中止・短縮があります。

西宮市に気象警報(大雨・暴風、その他の警報は学校の判断による)が発表され、午前7時の時点で警報が継続していたり、午前7時以降に新たに警報が発表されたりした場合は、警報解除の時間を問わず当日の事業はありません。また、事業実施中に発表された場合はその時点で中止して帰宅させることとなります。原則として学校が休校や一斉下校になった時はこどもルームはありません。急な中止の場合ははり紙等(図書館前、理科室前)でお知らせします。

- ・5/9(木):地区別児童集会
- ・5/17(金):内科健診
- ・5/23(木):クラブ活動
- ・先月のおたよりで25日とお知らせしていたオープンスクールの日が18日に変更になりました。したがって振替休業日が27日から20日になります。ご確認ください。

5月のカレンダー

月	火	水	木	金	土	日
		①	②	3	4	5
6	⑦	⑧	⑨	⑩	11	12
⑬	⑭	⑮	⑯	17	18	19
20	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	26
㉕	㉖	㉗	㉘	㉙		

4月のルームの様子

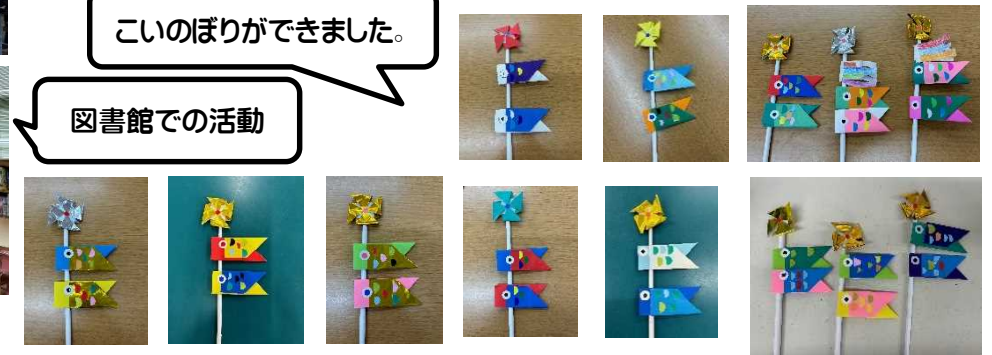


理科室での活動



図書館での活動

こいのぼりができました。



★児童全員が参加できます。(学校のルールに従って実施します。)

※育成センターに通われているお子様が参加するときは、事前に育成センターにお休みの連絡をしていただきますようお願いいたします。同日に育成センターとルームの両方を利用することは出来ません。

- ① 受付で名簿に学年・組・名前・来た時刻を書いてください。
- ② 帰る時は名簿に帰る時刻を書き、サポーターに声を掛けるようにしてください。問い合わせがあった場合に参加しているかすぐに分かるようにするためのものです。



下校時刻は午後4時30分です

裏面もあります

連絡先 地域学校協働課 (0798-35-3652) コーディネーター 赤江 (080-3178-2703)

5月のおすすめ

今年もゴールデンウィークが始まりました。カレンダー上では大型連休ではなく、間に3日平日がはさまれます。急に暑くなり体調を崩しやすいので、お気をつけてお過ごしくださいね。子供たちはお休みを楽しみにしていると思います。ご家庭では何か予定をたてられているのでしょうか。

私は子供たちが小さいとき、連休中にお出かけや人混みに行くのが苦手で、近場の公園などで遊び、家でお菓子やパンなどを子供たちと作っていました。ご飯もリビングにレジャーシートをひいて食べてみたり、日頃出来ないようなことで気持ちを切り替えていました。だって、大変じゃないですか、お出かけって。準備もそうですし、子供たちははしゃぎ回るし、なんだったら遠出しようとした途端、熱出したり、体調崩したり……。

子供たちの運動量が増え、毎日がとても慌ただしくて「はやく！」が口癖になり、自分のイライラに振り回された時期がありました。そんな私の心を救ってくれた本があります。ぜひご紹介させてください。『おでかけのまえに』という小さな女の子が主人公のお話です。イライラがマックスだった私の心を救ってくれたのは、小さな女の子の気持ちをおおらかに受けとめるお父さんとお母さんの存在でした。

お出かけ前の子供はとてもはしゃぎます。嬉しくてしかたがありません。大人が準備に追われるのを見て手伝おうとします。でも、それが余計に手間をかける光景ってありますよね。物語の中でもそんなおなじみの光景が繰り広げられていきます。多分子育て中だった私なら「さわらないでね」「むこうで遊んでいてね」など子供が手伝おうとする気持ちより、大人の準備を優先してしまっていたと思います。それでも子供って手伝いたい気持ちが強くて、親子でぶつかったり泣かせてしまったりしたのでした。そして心に残るのは、なんとも言えない罪悪感……。

物語の中でも、……私だったら「やめてー」と叫んでしまうような状況がやってきます。でもここでは、お父さんもお母さんも女の子の行動を受け入れ、最後はみんなニコニコして出かけることが出来ました。女の子をどんな風に受け入れるのかは、ぜひ本を読んでいただきたいと思います。

「しつけ」と「甘やかし」の線引きって、とても難しいときがあります。そんな時は「今日は楽しく出かける」とか「子供に挑戦させる」など目標を決めて、細かいことは「ま、いっか」と流してしまいます。子育てに「正解」はありません。ただ子供は「育って欲しい姿」にはなりません。親が「育てたように」育つのだと思います。今は大きくなった自分の子供たちを見ながら、その言葉をかみしめることがあります。成長すると細かいことは覚えていません。ただ、心に残っていることは親子の信頼関係と楽しかった気持ちです。このお話を読むと、とても優しい気持ちになれるので、そんな気持ちになりたい方はぜひどうぞ。連休中にすいている図書館で、親子一緒に過ごされるのもおすすめです。

コーディネーター 赤江 朋子



『おでかけのまえに』

作：筒井 頼子

絵：林 明子

出版社：福音館書店

